

國立中央大學研究發展處 書函

機關地址：32001桃園縣中壢市中大路300號

傳 真：03-4276543

承 辦 人：簡君怡

聯絡電話：03-4227151 分機：57033

電子信箱：chienyi@ncu.edu.tw

受文者：全校各系所院

速別：速件

密等及解密條件或保密期限：

發文日期：中華民國97年3月10日

發文字號：研字第0970540096號

主旨：函轉「2008年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)」招考通知乙份，請 查照。

說明：

- 一、依教育部97年3月5日台文(三)字第0970034662號函辦理。
- 二、有關申請及獎學金等資訊，請逕洽財團法人日本交流協會台北事務所，電話：(02)2713-8000轉2401或2402，參考協會網站www.koryu.or.jp/ez3_contents.nsf/Top。

正本：全校各系所院

副本：

依分層負責規定授權單位主管決行

國立中央大學研究發展處

84
12124

檔 號：
保存年限：

教育部 函

地址：台北市中山南路5號
傳真：02-23976980
聯絡人：王宗德
聯絡電話：02-77365735

受文者：國立中央大學

發文日期：中華民國97年3月5日

發文字號：台文(三)字第0970034662號

速別：普通件

密等及解密條件或保密期限：

附件：日本交流協會函信(34662.TIF，共1個電子檔案)

主旨：轉送「2008年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)」
招考通知乙份，請 查照。

說明：

- 一、依財團法人日本交流協會臺北事務所97年2月29日第9號函辦理。
- 二、該協會自今(97)年起承接「獨立行政法人日本學生支援機構(JASSO)」所施行之「短期留學推行制度」，有關台灣方面大學交換生甄選也轉由該協會承辦。今年3月上旬後，該協會將在網站上刊載「2008年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)」之招考方法，並將寄發招考公函至各校。
- 三、有關該獎學金相關資訊，請逕洽財團法人日本交流協會臺北事務所，電話：(02)2713-8000轉2401或2402，傳真：(02)2713-0541，或詳參該協會網站：
：http://www.koryu.or.jp/ez3_contents.nsf/Top。

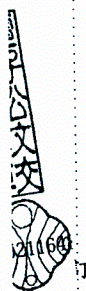
正本：各公私立大專校院

副本：財團法人日本交流協會臺北事務所、本部文教處

97/03/05
16:34:14

依分層負責規定授權單位主管決行

裝

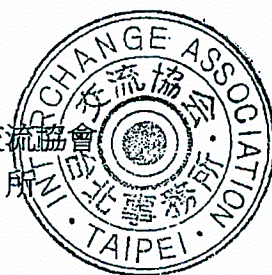


線

第 9 號
2008 年 2 月 29 日

教 育 部
國際文教處

財團法人 日本交流協會
臺 北 事 務 所



主旨：懇請 貴處將本協會「2008 年度日本交流協會(短期交換留學生)之招考通知」一事(請參閱附件)，惠予轉達臺灣各大專院校為荷。

說明：從平成 20 年度(2008 年度)起，往年由「獨立行政法人日本學生支援機構(JASSO)」所施行之「短期留學推行制度」臺灣方面大學交換生招考、甄選等作業，將轉由本協會臺北事務所承辦。

今年 3 月上旬以後，本協會除了在網站上刊載「2008 年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)」之招考方法外，亦將發出相關招考公函至臺灣各大學和相關單位。

2008 年 2 月 28 日

校長 鈞鑑

財團法人 交流協會
理事長 高橋 雅二

平成 20 年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)之招考通知

本協會是日本與臺灣終止外交關係後，為維持實務上的交流關係所設立的財團法人，在無實際外交關係的日臺之間，屬於非正式官方性質之機構。本協會也承接以往的日本國政府留學生制度，以臺灣當地採用和日本國內採用等方式，繼續提供獎學金，資助希望前往日本各研究所接受研究指導的臺灣留學生。

除了上述獎學金之外，從平成 20 年度(2008 年度)起，往年由「獨立行政法人日本學生支援機構(JASSO)」所施行之「短期留學推行制度」臺灣方面大學交換生甄選，也將轉由本協會承辦。從招考至選拔等作業將在臺灣，即由本協會臺北事務所與臺灣的大學、交換生之間進行。

今年 3 月上旬以後，除了在下列本協會網站上，刊載「2008 年度日本交流協會獎學金(短期交換留學生)」之招考方法外，亦將發出招考公函至各大學，敬請留意確認為荷。

財團法人 日本交流協會 臺北事務所網址-----

關於『日本交流協會獎學金(短期交換留學生)』

http://www.koryu.or.jp/ez3_contents.nsf/Top

〔聯絡人〕

財團法人 日本交流協會 臺北事務所 (濱口・末石)

TEL : (02)2713-8000 (內線 2401・2402) FAX:(02)2713-0541

〒10547 臺北市慶城街 28 號 通泰大樓

2008年2月28日

各 大 学 長 殿

財団法人 交流協会

理事長 高 橋 雅 二

2008年度交流協会奨学金（短期留学生）について（通知）

当協会は、日本と台湾との外交関係の終了に伴い、実務レベルでの交流関係を維持するために設立された財団法人であり、外交関係の無い日台間において準公的性質を有する機関であります。当協会では、それまでの日本国政府費留学生制度を引き継ぐ事業として、日本の大学院で研究指導を受けようとする留学生に対して、台湾での現地採用、日本での国内採用などを行い、奨学援助（長期）を行ってまいりました。

2008年度からは、その奨学援助に加え、これまで独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が行っていました「短期留学推進制度」の台湾大学生についても、当協会で募集し、支援を行うこととなりました。

3月上旬以降、下記ホームページに『2008年度交流協会奨学金（短期留学生）』の募集方法等を掲載し、同時に、募集の通知を各大学に配布いたします。

募集から奨学生決定までの段階について、これまで独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）と日本の各大学の間で実施していましたが、今後は当協会台北事務所と台湾の大学及び学生の間で実施することになりますので、予めお知らせいたします。

記

財団法人交流協会台北事務所のホームページ

『交流協会奨学金（短期留学生）』について

http://www.koryu.or.jp/ez3_contents.nsf/Top

〔照会先〕

〒10547 台北市慶城街28号（通泰大楼）

財団法人交流協会台北事務所 文化室（濱口・末石）

TEL：02-2713-8000（代表）〔内線 2401・2402〕 FAX：02-2713-0541